



1・2年生交流会での写真

教育学部では、52名の新入生を迎え入れました。本年5月に、教育学部2年生が企画運営する、「1・2年生交流会」及び、「教育学部大運動会」が開催されました。これらの会は学生が主体的に企画をし、工夫を凝らして運営するなど、心のこもったものとなりました。（詳しくは3面）

宮崎国際大学 教育学部ニュースレター

教育学部は令和元年度教職課程の再課程審査認定を受けて再出発です！

教育学部長 福田 亘博



昨年度、国内の国公立大学の教職課程は、文部科学省による教職課程の再課程認定審査を受けて、令和元年度より新しい教育カリキュラムで再出発することになりました。文部科学省によるこのような教職課程の再審査は約10年ごとに行われており、小・中・高等学校の学習指導要領の改訂や新たな課題に対応できる教員養成を行うために必要な場合に実施すると説明されています。今回の申請を通して、①教科・教職科目の「大括り化」、②教職科目のコアカリキュラム化、③学校インターンシップの導入、④小学校における外国語活動（英語）の教科化に伴う英語科目の必修化などの大幅な教育改革を行いました。また、各教科の教育法や特別活動等では、従来に加え新たに、アクティブラーニングの視点やICTを用いた指導法なども加えました。本学部においても昨年度文部科学省に再課程認定申請を行い、無事認可されました。今年度、入学した新1年生から、この新しい教育カリキュラムが適用されます。

さて、このような教育改革が学生や教育学部にとってどのようなメリットがあるのでしょうか？例えば、コアカリキュラム化された教職科目では、学修目標が設定されてお

り、これを達成するために授業内容が具体的に書かれていることから、学生は、授業を履修することにより何が身に付くのか明確にイメージできるようになりました。「学校インターンシップ」では、学生は小学校・幼稚園・保育所において教育実習以外の教員・保育者の日常の業務を学ぶことができるようになり、早い段階から学校・児童生徒に慣れ親しみ、「教員とは」「学校とは」を学べます。

また、小学校における英語の教科化に伴い、英語及び英語科教育法を必修化しました。今後、新1年生がこれらの新教育カリキュラムをスムーズに履修し、教員として求められる資質・技能を身に付けられるように、教職員一同全力で支援していきたいと考えています。

目次

教育学部は令和元年度教職課程の再課程審査認定を受けて再出発です！	1
第3期生の挑戦を心から応援します	1
学生のときこそ 時間を大切に	2
大学生生活は自分次第	
乳幼児期に関わる保育者の存在	2
1・2年生交流会を開催しました	3
教育学部大運動会を開催しました	3
積極的にチャレンジし、主体的に学ぶ1年に	4
自らの目標に向かって努力することをサポートする「保育ゼミ」の活動！	4
入試広報室より	4

第3期生の挑戦を心から応援します

学生教職支援センター長 釋迦堂 幾則



4月から多くの卒業生が教員や地方公務員、保育士、民間企業の社員として歩み始めました。一人一人道は違いますが、本学での学びや出会いを大事にしながら力強く活躍・成長しているものと期待しています。本年度は52名の入学生を迎えてスタートしましたが、4月には、2年生が企画運営した「1・2年生交流会」、5月には、2年生が企画運営した「教育学部大運動会」と3年生が企画した4年生を激励する恒例の「栄養会」が開催され、学部生の結束を深める貴重な機会になりました。創設6年目の教育学部ですが、『みんなで一緒になって

夢の実現に向けて頑張ろう！』というスローガンのもと、各学年の学生が主体的にアクションを起こすところが実に頼もしいです。

就職活動で奔走する4年生のうち、公立小学校受験者が16名（宮崎県内7名、県外9名）と今年は少なく、県外受験者の方が多いです。本学から初めて受験する県も複数ありますが、第1期生と同じように開拓者精神で果敢に挑戦してほしいです。卒業生から「仲間がいたから頑張れた」といったメッセージがあるように、1年次から本学独自のオプション教育プログラムの学修に挑み続けてきたことに自信をもち、現役合格に向けてみんなで一緒に挑戦することを期待します。

卒業した先輩からのメッセージ

学生のとこそ 時間を大切に

えびの市立上江小学校教諭 高田 俊輔
(平成31年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



平成31年度(令和元年度)より、えびの市立上江小中学校に勤務しています。3年生10名の担任として子どもたちの指導にあたっています。勤務は、朝の授業準備や宿題のチェックから始まり、全ての授業を行った後、校務分掌の仕事や学級通信、時間割作りなどをします。それらを一通り終わると次の日に向けて教材研究をします。これが1日の主な流れです。勤務をしてまだ1か月程度ですが、よく言われるように教員は多忙であると感じています。教員になって自分の時間をつくろうとしてもなかなかできません。

そこで、教員を目指す学生の皆さんには、ぜひ「学生のとこそ時間を大切にしてほしい」と思います。自分の勉強時間を確保したり、授業の合間に学習ができたりすることは非常に幸せなことです。教員採用試験対策に取り組むことだけではなく教員としての資質を高めるために、様々なことに挑戦してほしいです。例えば、英語力とPCスキルの向上です。英語力は言うまでもありませんが、PCで処理する業務も多いので、ぜひ力をつけておいてください。また、私を含め、宮崎国際大学教育学部出身の教員には、「先生は国際大学だから英語ペラペラでしょ?」とよく話しかけられます。自分の時間が十分にある大学生の時期に、自分の課題を明確にし、ぜひさまざまなことに取り組んでください。

教員は多忙であると述べました。しかし、その分喜びや達成感の大きい職業であると強く感じています。子どもたちの笑顔を見たり、元気なあいさつをされたりすると疲れも吹っ飛びます。また、職場には素晴らしい仲間と先輩の先生方がおられます。宮崎国際大学教育学部の皆さん、自分の夢・目標に向かって、今を大切に、精一杯頑張ってください。

大学生生活は自分次第

宮崎市役所職員 前田 知瑛乃
(平成31年3月宮崎国際大学教育学部卒業)



私は4月から宮崎市役所福祉部社会福祉第二課でケースワーカーとして働いています。毎日が初めての連続で分からないことばかりですが、先輩方からご指導いただき充実した日々を送っています。

を送っています。

私は大学在学中、市の職員になるか小学校教員になるか悩んでいました。でも講義や資格取得の勉強、実習、ボランティア活動を通して、自分の進みたい道を見つけ、夢に向かって努力することができました。後輩の皆さんの中にも今自分が何をしたいのか、何になりたいのか悩んでいる人もいます。まずは行動あるのみです。興味・関心のあることに勇気を出して飛び込んでみたら、何かが見つかるかもしれません。4年間の大学生生活は自分次第で大きく変えることができます。努力を惜しまず、また、先生方や友人への感謝を忘れず充実した学生生活を送ってくださいね。お互いに頑張りましょう。

教育学部教員から

乳幼児期に関わる保育者の存在

教育学部講師 城戸 佐智子



今年4月に教育学部に着任いたしました城戸佐智子です。主に保育の教科に携わります。

人間の一生の中で心身ともに一番成長する時期、それが乳幼児期です。また、「三つ子の魂百まで」という諺もあるように、3歳頃までに人格の根底部分が形成されます。人格形成にとつ

て最も大切なのは、「自分は愛されている、必要とされている」という自己肯定感が根付いていること。その時期に関わる保育者は、子どもたちにとって自分を愛してくれるとても大切な存在なのです。

私も子どものことを一番に考えられる愛情深い保育者を育てられるように、学生としっかり向き合い、サポートしていきたいと思っています。

(担当教科:保育内容指導法(健康)、幼児体育演習、保育実習)

幼稚園教育実習・保育実習 I a 実習報告会



4月15日(月)に実習報告会が開催されました。3年次2月に行った2週間の実習について現4年生が報告しました。実習での学びや先輩たちへのメッセージなどエピソードを交えながら発表し、とても熱心な質疑が交わされました。

栄養会が開催されました



5月25日(土)に教員採用試験等の勉強を頑張っている4年生を応援する栄養会が開催されました。この栄養会は3年生が企画・運営をしました。詳しくは次号で。

学生企画

1・2年生の親睦を深める交流会を開催しました

4月26日（木）に実施した1・2年生交流会には、1年生49人、2年生28人、計77人の参加がありました。

平原：企画して大変だったことはありませんか？

森川：人数が多かったので場所の確保と日程調整が大変でした。

平原：では、逆に良かったことは何ですか？

森川：当日、2学年が協力して会場設営をしてくれたことがとても嬉しかったです。また、企画に積極的に参加してみんなが笑顔になったことが良かったです。

平原：どんなことをしたのか内容を教えてください！

森川：チーム分けをした後に各グループで自己紹介をしました。次に、チーム対抗の絵しりとりをして団結力を高めました。そして、教育学部ならではの国語と算数にちなんだクイズを出題しました。最後に、全体でイントロクイズをして交流会は大変

盛り上がりました。

平原：この交流会は今後どう生かせそうですか？

森川：企画者自身は、行事を企画運営するチカラを身に付け、コミュニケーション力をさらに高めることができました。それを生かして、小学校教員になった時の学級経営の基礎を培うことにつなげていきたいです。また、参加者は交流会をきっかけに縦と横のつながりを広げ、教育学部全体の意識向上に生かしていけるとと思います。

平原：ありがとうございました。私は、当日参加できなかったのですが、企画のみとなりましたが、みんなに楽しんでもらえたようで良かったです。

今後も、教育学部全体の輪を広げられるような企画をしていきたいと思っています。そして、全員がそれぞれの進路実現のためにやる気が高まる環境をつくっていただければいいです。

教育学部大運動会を開催しました

5月17日（土）に実施した教育学部大運動会には1～4年生84名が参加しました。企画から運営まで学生が主体となり、大変盛り上がりました。

河野：運動会楽しかったね！

嶋木：そうだね。私は司会をしていたのだけれど、各団で一所懸命に競技に取り組んでいて、見ている方も楽しかったよ。河野さんは何の競技が一番楽しかった？

河野：各団対抗全員リレーが楽しかったよ。赤青黄の3団、各団一歩も譲らず接戦だったね。アンカーは各団長の川平君、小城君、新名君が走って、みんなで大盛り上がりだったね！

嶋木：各団対抗全員リレーの結果は、1位黄団、2位赤

団、3位青団だったね。みんな学年関係なく応援していて熱かったね。

河野：他にも、手拍子分だけ集まろうゲームや障害物競走、借り物競争、大縄など、いろいろな競技を通して教育学部全体の絆が深まったのではないかな。

嶋木：総合優勝の赤団は賞品のお菓子をもらったよ。先生方からみんなに飲み物やお菓子の差し入れがあって、嬉しかったな。

河野：教育学部大運動会を大成功で終わらせることができたのは、1～4年生みんなと先生方の協力があったからこそだね。



赤団



青団



黄団



1・2年生交流会 教育学部大運動会 実行委員

平原 桃花(宮崎南高等学校出身) 森川 友梨奈(宮崎北高等学校出身)
河野 歩美(宮崎西高等学校出身) 嶋木 美仁(都城西高等学校出身)

積極的にチャレンジし、主体的に学ぶ1年に



教育学部2年 堀 友歌
(宮崎県立宮崎北高等学校出身)

今年度は、様々なことに積極的にチャレンジし、主体的に学ぶ1年にしたいです。

昨年度1年間を振り返って、前期はまだ大学に入学したばかりで、授業や日々の生活に慣れることに精一杯でした。後期になり、授業や生活のリズムに慣れ、時間的にも余裕ができ、+αの勉強や水泳の練習を始めたり、サークル活動に積極的に参加することができ、前期より充実しました。今年度は、昨年度後期に始めた勉強やサークル活動をさらに充実させ、英語検定や手話検定などの資格取得にもチャレンジしたいと思います。

また、昨年度は、教職サークルで参加しているセミナーや手話に関する講習会、小学校での公開研究大会に参加する機会がありましたが、大学で学んでいないことが多く、受講してもわからないことがたくさんありました。しかし、自分から質問したり、発言したりすることはほとんどなく、分からないものが分からないままだったり、後になってチャレンジしておけばよかったと後悔することがたくさんありました。今年度は、ただ参加するだけではなく、自分から積極的にチャレンジしたり、分からないことや気になったことを聞きに行ったりして、昨年度より主体的に学びたいと思います。

さらに、セミナーや講習会での学びを100%自分のものにするためには、日頃の大学での講義一つ一つを大切にすることが必要だと強く感じました。まずは、講義をしっかり受けていきたいです。来年は教育実習もあるので、今しっかり学べるうちに様々な知識や技術を自分のものにできるように一日一日を充実させていきたいです。

自らの目標に向かって努力することをサポートする「保育ゼミ」の活動！

教育学部教授 相戸 晴子

保育ゼミは、自主参加によって行われているゼミです。毎月1回全体ゼミを行います。主に小幼コースの学生は小学校と幼稚園の教諭免許に加えて3つ目の資格「保育士資格」取得のため、また幼保コースの学生は「公務員保育教諭」になることを目指して参加しています。

小幼コースの学生が3つ目の資格取得として保育士資格を取るには、保育士国家試験が免除となる同内容の授業を履修したり、保育士国家試験の部分受験をしたりして、資格に必要な要件を揃えていきます。また、公務員保育教諭を目指す人は、公務員試験対策の勉強に各自で取り組みつつ、小論文の書き方や面接の受け方などをゼミで練習しそのスキルを高めていきます。

昨年度もゼミ参加者の中に、保育士資格取得の要件を揃えた学生が3名いました。そして、公務員保育教諭に合格した学生は2人もいました。このように保育ゼミでは、自らの目標に向かって努力する人を全力でサポートします！ぜひあなたも参加しませんか？

宮崎国際大学

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931

FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp>

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科



宮崎国際大学

SUMMER OPEN CAMPUS 7/21 SUN 8/18 SUN 10:00-14:30

学食ランチ 無料

無料送迎: JR宮崎駅、JR南宮崎駅、JR清武駅、延岡・都城方面

同時開催
ジェイソン・アダチ教授 リスニング対策講座
武川晋也講師(北九州予備校) 小論文対策講座

コンテンツ ◆学部説明 ◆体験授業 ◆学食体験 ◆交流カフェ など

オープンキャンパス 詳細はコチラから

在学生・教員の話
聞ける、直接話せる！
MICの魅力をも自分の
目で見て体験してくだ
さい♪



入試情報



学生募集要項



大学案内



お問合せ先/入試広報部

0120-85-5931

admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp